

平成 23 年度高知大学海洋コア総合研究センター

共同利用・共同研究成果発表会

プログラム (案)

3月1日 (木)

13:00- 13:10 開会挨拶

13:10-14:40 (座長：池原 実)

O-01 「太古代中期のクリバービル縞状鉄鉱層: DXCL2 掘削報告 1」

清川 昌一 (九州大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 尾上 哲治 (鹿児島大学), 坂本 亮, 寺司 周平, 相原 修平 (九州大学), 菅沼 悠介, 堀江 憲路 (国立極地研究所), 池原 実 (高知大学), 伊藤 孝 (茨城大学)

O-02 「西オーストラリア・クリバービル地域における年代測定」

相原 悠平, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 竹原 真美 (九州大学), 堀江 憲路 (国立極地研究所)

O-03 「西オーストラリア・ピルバラにおける太古代中期の黒色頁岩層からみた海洋底環境：層序及び硫黄同位体の解析結果」

坂本 亮, 清川 昌一, 奈良岡 浩 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 佐野 有司, 高畑 直人 (東京大学), 伊藤 孝 (茨城大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA)

O-04 「南アフリカ・バーバートン帯・フィグツリー層群・マペペ層の層序と帯磁率と炭素同位体比」

寺司 周平, 清川 昌一 (九州大学), 伊藤 孝 (茨城大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 池原 実 (高知大学), 稲本 雄介 (九州大学)

O-05 「約 32 億年前の海洋における生体必須元素の生物地球化学循環」

山口 耕生 (東邦大学, NASA), 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 伊藤 孝 (茨城大学)

O-06 「岡山県西部のペルム紀緑色岩に産する微生物変質組織の岩石学のおよび地球化学的研究」

菅原 久誠, 榊原 正幸 (愛媛大学), 池原 実 (高知大学)

14:40-16:10 ポスター発表：概要紹介，引き続いてコアタイム

P-01 「下北沖 C9001C コアの生物源オパールの変遷」

堂満 華子 (滋賀県立大学), 千代 延俊 (地球環境産業技術研究機構), 池原 実 (高知大学)

P-02 「薩摩硫黄島長浜湾中の水酸化鉄浮流物と沈殿物について」

藪和 雄人 (九州大学)

P-03 「約 32 億年前の黒色頁岩中の硫黄の存在形態別同位体分析から明らかにする海洋の硫黄循環」

小林 友里 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 坂本 亮, 奈良岡 浩, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 伊藤 孝 (茨城大学)

P-04 「西オーストラリア・ピルバラ地域の約 32 億年前の陸上掘削黒色頁岩の地球化学：窒素の安定同位体

組成から制約される海洋窒素循環」

小林 大祐 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 坂本 亮, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 伊藤 孝 (茨城大学)

P-05 「顕微 FT-IR および顕微 Laser Raman 法による約 32 億年前の黒色頁岩中の有機物の起源の制約」

中村 智博 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 池原 実 (高知大学), 清川 昌一 (九州大学), 伊藤 孝 (茨城大学)

P-06 「南アフリカ・バーバートン帯の縞状鉄鉱層の地球化学：希土類元素組成から復元する約 32 億年前の海洋環境」

矢作 智隆 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 原口 悟 (東京大学), 佐野 良太 (日本分析センター), 寺司 周平, 清川 昌一 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 伊藤 孝 (茨城大学)

P-07 「東地中海クレタ島沖 KH06-04 航海で採取された海底塩湖堆積物の地球化学：リンの存在形態別分析から明らかにする過去 5~21 万年の酸化還元状態の変遷史」

山口 友理恵 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 村山 雅史, 池原 実 (高知大学)

P-08 「琵琶湖北湖第一湖盆, 極表層堆積物の岩石磁気学的特性の地域差」

石川 尚人 (京都大学)

P-09 「ベーリング海パウワー海嶺基盤岩を掘削した IODP Hole U1342D コアの古地磁気学的研究」

後閑 友裕, 岡田 誠 (茨城大学)

P-10 「岩石磁気からみた蛇紋岩の上昇過程 —西南日本, 四国東部を例として—」

田川 晋, 宇野 康司 (岡山大学), 原 英俊 (産業技術総合研究所)

P-11 「隕石中の磁性鉱物」

鳥居 雅之 (岡山理科大学), Viktor. H. Hoffmann (University of Tuebingen), 山本 裕二, 小玉 一人 (高知大学)

16:10-17:40 (座長：齋藤 有)

O-07 「デボン紀肉鱈類 *Eusthenopteron foodi* の硬組織の構造と化学組成」

三島 弘幸 (高知学園短期大学), 笥 光夫 (明海大学), 見明 康雄 (東京歯科大学), 笹川 一郎 (日本歯科大学)

O-08 「IODP Site U1304 の浮遊性有孔虫化石に基づく亜極前線下に発達する珪藻軟泥の古海洋学的意義」

山崎 誠, 嶋田 智恵子, 佐藤 時幸 (秋田大学), 池原 実 (高知大学)

O-09 「北太平洋およびベーリング海で採取された SO202-INOPEX コアに介在するテフラとその岩石学的特徴」

青木 かおり (立正大学)

O-10 「ベーリング海堆積物試料中の有孔虫酸素安定同位体比層序構築」

岡崎 裕典 (海洋研究開発機構, 現 九州大学), 朝日 博史 (東京大学), 池原 実 (高知大学)

O-11 「ニュージーランド東方沖海底コア IODP Site U1352 の年代層序」

上端 智幸, 河潟 俊吾 (横浜国立大学), 保柳 康一, 古藤 尚 (信州大学)

O-12 「北大西洋海底掘削コア試料の古地磁気・岩石磁気—大陸氷床発達期(MIS100)の古環境変動—」

大野 正夫 (九州大学), 林 辰弥 (国立科学博物館), 山下 剛史, 水田 麻美, 桑原 義博 (九州大学)

3月2日(金)

9:00-10:15 (座長: 山本 裕二)

O-13 「マグネタイト多磁区粒子の低温磁化への圧力の影響」

佐藤 雅彦 (東京工業大学), 山本 裕二, 西岡 孝, 小玉 一人 (高知大学), 望月 伸竜 (熊本大学), 網川 秀夫 (東京工業大学)

O-14 「四国海盆の回転角: 大円解析法による掘削残留磁化の粘性残留磁化からの分離」

小田 啓邦 (産業技術総合研究所)

O-15 「IODP Exp. 330 (Louisville Seamount Trail)で採取された岩石試料の磁気測定結果」

星 博幸 (愛知教育大学)

O-16 「房総半島定方位コアから復元した地磁気逆転トランジション」

高崎 健太, 兵頭 政幸 (神戸大学), 岡田 誠 (茨城大学), 加藤 茂弘 (兵庫県立人と自然の博物館), 北場 育子 (神戸大学)

O-17 「有孔虫殻の酸素同位体比分析・微量元素分析から明らかにする過去 1.8 万年間の日本海の海洋環境」

小平 智弘, 堀川 恵司 (富山大学), 池原 研 (産業技術総合研究所), 村山 雅史 (高知大学), 張 勁 (富山大学)

10:30-11:45 (座長: 岡村 慶)

O-18 「オーストラリアボナパート湾における堆積物コア解析 -古海水準変動記録の復元に向けて-

宮入 陽介, 石輪 健樹, 横山 祐典 (東京大学), 池原 実 (高知大学)

O-19 「音波探査からみた鹿児島県鬼界カルデラの形成過程」

池上 郁彦 (九州大学)

O-20 「薩摩硫黄島長浜湾中の鉄沈殿作用と気象変化との関連性について」

上芝 卓也, 清川 昌一 (九州大学), 後藤 秀作 (産業技術総合研究所), 伊藤 孝 (茨城大学), 池原 実 (高知大学), 山口 耕生 (東邦大学, NASA), 二宮 知美, 永田 知研, 藁和 雄人, 池上 郁彦 (九州大学)

O-21 「九州南部始良カルデラ熱水循環系の水文地球化学的研究」

石橋 純一郎 (九州大学)

O-22 「北海道利尻島に大気輸送された鉛の起源の変遷」

河野 麻希子 (名古屋大学), 谷水 雅治 (海洋研究開発機構), 浅原 良浩, 南 雅代 (名古屋大学), 細野 高啓 (熊本大学), 中村 俊夫 (名古屋大学)

11:50-12:00 閉会挨拶

*全国共同利用研究は、独立行政法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。